

# 日建・レンタコムカップ

## 第31回全日本学生女子ヨット選手権大会

### 帆走指示書

大会期間：2023年9月22日(金)～9月25日(月)

開催地：神奈川県三浦郡葉山町葉山港沖

#### 略語

- [DP] その規則の違反に対するペナルティーをプロテスト委員会の裁量により、失格より軽減することができることを意味する。
- [NP] その規則の違反は艇による抗議の根拠とはならないことを意味する。これは RRS60.1(a) を変更している。
- [SP] レース委員会が審問なしに標準ペナルティーを適用することができる規則を意味する。これは RRS63.1 及び RRS 付則 A5.1 を変更している。レース委員会は抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定される。

#### 1 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、それが発効する当日の最初のスタート予告信号の 60 分前までに掲示される。ただし、レース日程の変更は、それが発効する前日の 18 時までには掲示される。

#### 2 選手とのコミュニケーション

- 2.1 公式掲示板は、オンライン掲示板 [RacingRulesOfSailing.org](https://www.racingrulesofsailing.org) を使用し、帆走指示書の変更などの各種通告や大会文書の入手、審問予定、判決結果など審問に関わる通告に使用する。

公式掲示板 URL

<https://www.racingrulesofsailing.org/documents/6579/event?name=31-all-japan-univ-women-s-sailing-championship>

- 2.2 LINE オープンチャットは、各種 Google Form の入手先やブリーフィング、調停呼び出し、成績表、その他会場アナウンスの用途などに使用する。

LINE オープンチャット URL：第31回全日本学生女子ヨット選手権大会)

- (1) オープンチャットで使用するプロフィール名は所属大学または卒業した大学名及び氏名（フルネーム）とする。

(例) ○○大学 田中太郎

- (2) オープンチャットへの書き込みを禁止する。質問・問い合わせには応じられない。

- (3) オープンチャット利用のルールを満たしていない場合、強制退会させることがある。



### 3 [DP] 行動規範

競技者及び支援者は、レース委員会からの合理的な要求に応じなければならない。

### 4 [NP] 陸上で発する信号

- 4.1 陸上で発する信号は、大会本部前に掲揚する。
- 4.2 [DP] 音響信号1声と共に掲揚されるD旗は、「出艇してもよい。予告信号はD旗掲揚後40分以降に発する」ことを意味する。艇は、この信号が発せられるまで出艇してはならない。各校の支援艇もこの信号が発せられるまで出艇してはならない。但し、支援艇のある大学は葉山港ハーバー入り口付近で待機する場合にはこの限りではない。
- 4.3 回答旗が陸上で掲揚された場合、レース信号『回答旗』中の「1分」を「40分以降」と置き換える。

### 5 クラス旗

クラス旗は次の通りとする。

国際470級	470旗
国際スナイプ級	スナイプ旗

### 6 コース

予告信号以前に、スタート運営艇に選択されるコース及び最初のコンパス方位を掲示する。

### 7 マーク

- 7.1 マーク1、2、3、4は黄色の円錐台形ブイとする。オフセットマーク1Aは黄色の円筒形ブイとする。
- 7.2 SI9に規定する新しいマークは緑色の円錐台形ブイとする。
- 7.3 スタート・マークは、スターボードの端にある全日本学連旗を掲げたスタート運営艇と、ポートの端にあるオレンジ旗を掲げた運営艇とする。
- 7.4 フィニッシュ・マークは、青色旗を掲げた運営艇と、黄色の円筒形ブイとする。

### 8 スタート

- 8.1 1つのレースまたは一連のレースが間もなく始まることを艇に注意喚起する為に、予告信号を掲揚する5分以前に、音響1声とともにオレンジ旗をスタート運営艇に掲揚する。
- 8.2 スタート・ラインは、スターボードの端にあるスタート・マーク上にオレンジ旗を掲揚しているポールと、ポートの端にあるスタート・マーク上にオレンジ旗を掲揚しているポールの間とする。これはレース信号「オレンジ旗」を変更している。
- 8.3 [DP] [NP] 他のレースのスタート手順の間、予告信号が発せられていない艇は、スタート・エリアを回避しなければならない。【添付図D】にスタート・エリアを示す。
- 8.4 スタート信号後4分以内にスタートしない艇は、審問なしにDNSと記録される。これは、RRSA5.1, A5.2を変更している。

- 8.5 RRS30.4「黒色旗規則」のセール番号をエントリーナンバーに置き換える。これはRRS30.4を変更している。
- 8.6 ゼネラル・リコールの際、競技艇に知らせる為スタート運営艇以外の運営艇にも第一代表旗を掲げる場合がある。ただしその場合、音響信号は発せられない。当該運営艇が行う第一代表旗の降下は、レース信号「予告信号は、降下の1分後に発する。」の意味をもたないものとする。

## 9 コースの次のレグの変更

コースの次のレグを変更するために、レース委員会は、新しいマークを設置し(またはフィニッシュ・ラインを移動し)実行できれば直ぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

## 10 フィニッシュ

フィニッシュ・ラインはフィニッシュ運営艇上の青色旗を揚げたポールとフィニッシュ・マークのコース側の間とする。

## 11 ペナルティー

- 11.1 RRS付則P適用について、本レガッタでは同一のエントリーナンバーの艇を付則Pでいう「艇」とみなす。これはRRSP1.2を変更している。
- 11.2 プロテスト委員会は[DP]と表記されたSI及びRRS77、RRS Gの規則違反及びクラス規則違反に対するペナルティーを失格より軽減することができる。

## 12 タイム・リミット及び、レースの中止とコースの短縮

- 12.1 タイム・リミットと目標時間は次の通りとする。

Time Limit	Mark1 Time Limit	Finish Window	Target Time
80 分	20 分	15 分	45 分

- 12.2 マーク1のタイム・リミット内に1艇もマーク1を通過しなかった場合には、レースを中止する。ターゲットタイム通りとならなくても救済要求の根拠とはならない。これはRRS62.1(a)を変更している。
- 12.3 RRS30.3及びRRS30.4に違反しないでスタートし、コースを帆走した先頭艇がフィニッシュ後、15分以内にフィニッシュしない艇は、審問なしにDNFと記録される。これはRRS35、A5.1、A5.2を変更している。

## 13 審問要求

- 13.1 それぞれのクラスに対して、抗議締切時刻はその日の最終レースに最終艇がフィニッシュした後、またはレース委員会が、「本日これ以上レースを行わない」という信号を発した後、どちらか遅い方から 90 分とする。抗議締切時刻はオンライン公式掲示板に掲示される。
- 13.2 審問要求書は [RacingRulesOfSailing.org](http://RacingRulesOfSailing.org) のオンライン公式掲示板から提出することができる。
- 13.3 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者への審問に関する通告は、抗議締切時刻後 30 分以内にオンライン公式掲示板に掲示される。審問は葉山港大会本部内のプロテストルームにて行われる。

13.4 RRS42 違反に対するペナルティーを課せられた艇のリストはオンライン公式掲示板に掲示される。

## 14 [NP] 安全規定

14.1 [SP] 出艇申告及び帰着申告はオンライン手続き（Googleフォーム）により次のとおりとする。GoogleフォームのリンクはLINEの「第31回全日本学生女子ヨット選手権大会」オープンチャットグループにて入手できる。

- (1) レース当日の出艇申告は、D 旗掲揚時刻までに競技者本人自らが行わなければならない。その日の 2 レース目以降からレースに参加する場合は出艇前に競技者本人自らが行わなければならない。
- (2) その日の最終レース終了後の帰着申告は、帰着後速やかに、遅くともその日の当該クラスの抗議締切時刻までに競技者本人自らが行わなければならない。転覆等の理由で帰着が大きく遅れた場合は、帰着申告時にその旨伝えなければならない。

14.2 [DP] レースからリタイアする艇は、できるだけ早くレース委員会に伝えなければならない。その日のレース終了後、帰着してから抗議締切時刻までに Google Form のリタイア届にその理由を記載し、競技者本人自ら（レース委員会が正当な理由があると認めた場合は、その代理人）が提出しなければならない。

14.3 [SP] レースからリタイアしハーバーに帰着する艇は、帰着後速やかに、Google Form で帰着申告しなければならない。また、再度出艇する際は、Google Form で再出艇申告しなければならない。

14.4 [DP] レース委員会およびプロテスト委員会は、艇が帆走不能または危険な状態にあると判断した場合は、その艇にリタイアを命ずることができる。

14.5 [DP] 競技者は出艇してから帰着までの間、RRS40.1が適用される。

## 15 [NP] [SP] トラッキングシステム

15.1 艇はレース委員会により準備されたトラッキングシステムの端末機器を指定された位置に搭載しなければならない。

15.2 端末機器の配布と返却方法については、LINEオープンチャットにて別途指示される。

## 16 [DP] [NP] 競技者の交代と装備の交換

16.1 艇は海上で競技者の交代を行う場合、Google Formで変更届を提出しなければならない。このリンクはLINEオープンチャットで入手できる。

16.2 レース委員会は競技者の交代によりそのレースのスタートに間に合わなくても責任を負わない。

16.3 損傷または紛失した装備（セール・スピン・マスト・ブーム）の交換は、レース委員会またはテクニカル委員会の承認なしでは許可されない。交換の要請は最初の適当な機会にレース委員会またはテクニカル委員会に行わなければならない。

## 17 [DP] [NP] 装備と計測のチェック

艇または装備は、クラス規則、レース公示及び帆走指示書に従って、いつでも検査されることがある。海上において、艇は、レース委員会により検査のために、ただちに指定したエリアに進むことを指示されることがある。

## 18 運営艇

運営艇の標識は、次の通りとする。

レース委員会スタート運営艇	：全日本学連旗
レース委員会運営艇	：白色旗
プロテスト委員会艇	：J旗
レース委員会セーフティ艇	：黄色旗

## 19 [DP] [NP] 支援艇・観覧艇

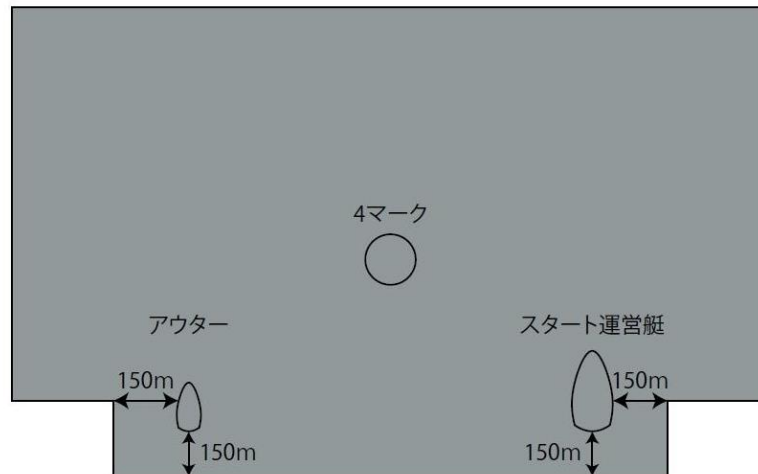
- 19.1 監督、コーチ大学関係者及び父兄が乗艇するモーターボートのうち、支援艇登録を行った艇を支援艇とする。その他の艇を観覧艇とし、観覧、応援等を目的とした大会主催者側に登録していないすべての艇を観覧艇という。観覧艇はレース艇に対する声援以外の支援及び運営艇との接触は認められない。レース艇への援助はSI19.6に規定した場合を除いて一切できないものとする。
- 19.2 支援艇は出艇してから帰着するまでの間、主催者が用意した、番号を記した赤色旗を海面より 1.5m以上の高さに掲揚しなければならない。支援艇・観覧艇の乗員は出艇してから帰着までの間、衣服または個人装備を一時的に替えたり整えたりする間を除き、RRS40.1 に規定された個人用浮揚用具を着用してなければならない
- 19.3 支援艇・観覧艇はレース委員会艇及びプロテスト委員会艇の運行を妨げてはならない。また、会場にいる間は個人用浮揚用具を着用すること。
- 19.4 支援艇は、救助活動中もしくはレース委員会が許可した場合を除き、  
(1) スタート運営艇でクラス旗が掲揚され、最後のクラスがスタートするまでは、【添付図 D】に示す入船禁止区域の外側にいなければならない。  
(2) 最後のクラスがスタートした時刻から、すべての艇がフィニッシュするかもしくはリタイアするか、またはレース委員会が延期もしくは中止の信号を発するまで、【添付図 E】に示す区域の外側にいなければならない。
- 19.5 支援艇がレース艇に支援を行う場合は SI19.4 に示した区域の外側で行わなければならない。
- 19.6 レース委員会は、荒天などの理由により、支援艇・観覧艇に対して救助の要請をすることがある。この場合、レース委員会運営艇に数字旗 8 を掲揚する。
- 19.7 支援艇は出艇及び帰着申告をGoogle Formにて提出すること。このリンクはLINEの「第31回全日本学生女子ヨット選手権大会」オープンチャットグループにて入手できる。但し、観覧艇はこの限りでない。出艇申告は当該レスキュー艇の当日最初の出艇時までに行い、帰着申告は遅くとも当日の最終レースを行ったクラスの抗議締切時刻までに完了させなければならない。

## 20 [DP] [NP] ゴミの処分

艇はゴミを支援艇又は運営艇に渡してもよい。

【添付図 D】 入船禁止エリア (■の部分)

SI8.3 及び SI19.4 (1)に規定する「スタート・エリア」



【添付図 E】 レース・エリア

SI19.4 (2)に規定する「艇がレースをしているエリア」

